

屈な気持が安らぐ。全員ねむり病にかかったように船室のベットにもぐりこみ甲板に出てこない、気温はますます高くなる。

10月15日

朝9時、アデン着。まばゆい強烈な光線はサングラス無しでは外に出られない。アデンはハゲ山のふもとにへばりつくように簡素な家並みを見せた街である。サウジアラビアの一角に位置し、香港と同じイギリスの植民地である。自由貿易港とあつて日本のカメラやラジオが商店のウインドに誇らしげに陳列されている、値段も安くインドやセイロンで下船する乗客はここで土産品を買い求める。

街は熱気がいつぱい、道路はお好み焼の鉄板のように焼けついている、トヨベツトコロナが走っている。午後4時出港。

10月16日

波はおだやかで気温が除々に下がってくる、インド人のほとんどが日本製のトランジスターラジオをぶらさげ、ガーガー鳴らしながら得意気に甲板を右往左往している実にやかましい。

甲板のあちこちでわれらの同胞日本人がインド人につかまつている。アデンで買ったラジオや、カメラの使用法を聞いているのである。中には鳴らなくなつた中古ラジオを持つてくるものも現われた。ボンベイに着くまでの4日間どうやらこのインド人達に追いかけられそうである。

ベトナム号は静かに揺れながらアラビア海を一路、インドに向けスピードを上げていた。

— 完 —

クラブにおける探検理論と実践

和田 徳之

探検とは？

これは味わい深い言葉ではなかろうか。実際問題として考えて見ると厄介な言

業なのである。

ある無限の夢を持つて生きてきた人間は、一步一步現実のものとして進歩してきたのである。現在の立場も同じであらねばならないし、それがまた当然の事であり究極においては人間の使命であろう。過去の夢を実現させた現象を現在の立場で考えるなら、ある困難度においては現在以上であつたとしても「探検の定義」となればと思うのである。現在においてそれは意味深長である、これは一般論ではないかもしれない。

そこで現在の環境なり状況を考慮してみるならば、我部に於いてそう容易なことではないことは認められようが、あらゆる状況下においての行行動を遂行させるためには、断固たる信念をもつてやらねばならない。各々異つた性格の人間が、ある一つの性格を有するクラブで活動するにはクラブに厳格な1本の筋を通すことが必要ではあるまいか。“探検とは”辞書を引けば簡単明瞭な解答が得られよう、がしかしそれを述べたとしても無意味であるし、我部では理解に苦しむことだけであろう。

これら考えさせられる事情を思う時、いろいろ打開策があるにちがいない。現在各セクションに別れて活動を行つてゐることは、決して無意味ではないであろう。こうした性格は何も探検部だけに存在することではない。社会の大きいセクションを考えてみても又然りである。しかしながら、こゝで厳格なる1本の筋を忘れてはいけなない。セクション活動の結果、目的となるべき結果が導き出されなければ進歩はあり得ないだろう。

探検に対する人間の欲求はやむことはないであろうし、その状況下に直面している者にとってそれはより深いものであるにちがいない。そこで私なりにあらゆる面から考えて、探検というものを行ふに際し根本となると思われるセクションを考えると、3つのセクションからなると思う。

1. 技

各班に別れて活動を行う。それ自体探検的要素（この際これも問題となろう）を含んでいるのは当然であるが、それを軸に大成せんとするならば1つの技術を学びとつてゐることになる。海外への夢、これを現実の夢にするならば社交術も必須条件であろう。

2. 勇 気

技を達成させていくためには信念をもつてやらねばならない。以前にも述べた信念を勇氣と表現するならば、積極性も必須条件であろう。情性は禁物である。

3. 美

全ての行動は情性であつてはならないことは当然の結果である。”技”[”]これらを支えているものは何であろうか、1つの計画を立てる。それが成功することは誰しも望む、これは結果であり、これだけの事をやりとげねばならない支えが必要である。

これは各個人それぞれ違つた意見があると思うが私なりに心の中に無形で存在しているものを表現するならば”美”である。非常に抽象的であるがあえて言うならばそうである。万人美えの憧憬は心の中に潜在していると思う。遂行の結果喜びのないものは無意味であろう。

後 記

私自身技術研究会活動に終始してきた者であるから、山えのイメージを打ち消すことはできないのである。技研存在については技術研究会特集にも記載され議論されてきたところであり、「山へ行く」それ自体信念をもつて行動していることはまちがいない事実である。この小さいセクションの中にあつても理論と実践は忘れられていないと思うし、忘れられていたならば進歩はあり得なかつたであろう。いらぬ中傷は進歩の歩みを遅らせる結果となるにちがいない各セクションに所属している者はそのセクション内において成果を上げ、さらに目的とするものに進んでもらいたいと思うと共に私自身の戒めとするところであります。

完